

日本史研究推進委員会

共同研究「神奈川における交易・交流

—神奈川をめぐるモノを活用した日本史教材— 経過報告

茅ヶ崎高校 中田 稔

日本史研究推進委員会は「神奈川における交易・交流—モノを活用した日本史教材—」を共同研究テーマとして活動を続けています。「神奈川の教材化」以外にも、平成25年度より実施される県立高等学校における日本史の必修化を見すえて、そのあり方や、日常の授業実践のヒントになる活動にも重点がおかれています。

日本史必修化が始まる平成25(2013)年の夏に開催される全歴研神奈川大会では、近現代日本史をどう教えるかが主要なテーマの一つになりそうです。ぜひ、この機会に向け、一人でも多くの先生方の委員会へのご参加をお待ちしております。

定例会

各委員の勤務校を会場に毎月1回水曜日に行われます。各委員のレポートをメインに、サマーセミナーや踏査などのイベントに向けての意見交換や準備が行われました。昨年度の実施は以下の通りです。会場を提供いただいた各校関係各位にこの場を借りて御礼申し上げます。

4月27日 柏陽高校 5月18日 茅ヶ崎高校 6月8日 生田高校 7月 なし
9月21日 光陵高校(中止) 10月12日 柏陽高校 11月16日 鎌倉学園
12月14日 湘南高校 2月27日 上鶴間高校

日本史サマーセミナー

8月23～24日に県立柏陽高校にて、日本史必修化をみすえた県独自科目「近現代と神奈川」の実施研究、および近現代史の受験対策授業が行われました。両日の内容は次の通りです。

8月23日(火)

- I. 「近現代と神奈川—東アジアと日清・日露戦争—」 矢野 慎一(柏陽高)
- II. 「近現代と神奈川—資本主義経済と社会の変容—」 小田 貞宏(大磯高)

8月24日(水)

- I. 「近現代日中関係史」 杉山 登(逗子開成中・高)
- II. 「近現代沖縄史」 児玉 祥一(上鶴間高)

巡 検

夏の巡検は8月26日(金)。香川芳文先生(小田原高)の案内で、小田原を中心に、伊藤博文や山縣有朋といった明治の政治家等にまつわる旧別荘など史跡を巡りました。

冬の巡検は1月6日(金)。白川重敏先生(生田高)の案内で、東京の立川駅周辺の旧柴崎村および普濟寺から郷土資料館、昭和記念公園にかけて見学しました。

研究発表

秋季研究大会(柏陽高校)10月19日(水)

研究授業「第一次世界大戦と日本—大正政変—」 矢野 慎一(柏陽)

春季研究発表大会(かながわ県民センター)3月5日(月)

研究発表「文禄・慶長の役(壬辰・丁酉の倭乱)後の蔚山と在地両班」 中田 稔(茅ヶ崎)